



日本物理学会のこの1年 (2008年10月～2009年9月)

2008年度は、女性研究者支援モデル育成事業、女子中高生理系進路選択支援事業、出産・育児による研究中断者のための学術振興会特別研究員制度、女性の参加加速などの事業が推進され、これらが次の段階、質的变化に進まなければならない時期に必要なことは何かを議論した1年であった。

日本物理学会男女共同参画推進委員会では、12名の委員(男女同数)と、21名のネットコメンテータ(男性10名、女性11名)が主題別に8つのサブグループ(SG)に分かれて、「拡大する政府の女性研究者育成および支援策を生かし、次の段階に進もう！」を課題に以下の活動を展開した。また、委員個人がそれぞれの所属機関において、これらの事業に関わった。

SG構成: [1] 中高生への情報発信, [2] 広報, [3] 年会シンポジウム, [4] 物理教育委員会との連携, [5] 学協会連絡会運営委員会, [6] 学協会連絡会シンポジウム, [7] 国際協力, [8] アンケート等統計調査

1. 年次大会シンポジウム「研究教育の場における男女共同参画ー拡大する女性研究者支援と今後の展望」: (2009年3月30日, 立教大学). 年会シンポジウムSG担当: 米永一郎, 松尾由賀利, 五神真, 田島節子. 平成18年度に始まった女性研究者支援モデル育成事業は、採択機関が増える一方で、21年3月は初年度採択事業の期間が満了し、次の段階に進まねばならない節目に相当する。本シンポジウムでは、期間を満了した機関から採択間もない機関に行政担当者を交えて、次のステージに向けた議論を行った。板東久美子氏(内閣府男女共同参画局)はこれまでの国の施策と、今後の女性登用を促進する取組みについて述べた。18年度採択機関からはこれまでの事業と終了後の事業の展望について、19-20年度採択機関からはそれぞれの機関の特性を生かした女性研究者支援の拡大・定着についての講演が行われた。最後の全員討論では、ポジティブアクションの実効性や正当性の有無、有期雇用の問題、意識改革の必要性が議論され、人材の問題を集約してアピールしていくことの重要性が認識された。
2. 女子中高生理系進路選択支援事業: 女子中高生への情報発信SG
 - A. 「平成20年度女子高校生のためのジュニア科学塾2009 in 関西」(2009年3月14-15日, 奈良女子大学, 奈良ユースホステル). 奈良女子大学主催. 参加高校生87名, 保護者・教員約20名. 実験・実習「宇宙線を捕まえろ!」: 谷田聖, 「弾む! 浮く! 気まぐれ金属たち」: 松岡由貴(奈良女子大), 「加速度センサを使った、人と音楽のユニゾン」: 田中智子. 教員・保護者向けサイエンスカフェ体験「釜鳴り神事を科学する」: 檀上慎二.
 - B. 「女子高校生夏の学校2009～科学・技術者のたまごたちへ～」(2009年8月13-15日, 国立女性教育会館). 国立女性教育会館, 日本学術会議「科学と社会委員会 科学力増進分科会」主催. 実験「磁石って面白い!」: 中島美帆, 有光直子, 野田仁美. ポスターセッション「教師支援と女性教員・研究者のねつとわーく作り」: 興治文子, 石井恭子, 高橋春美, 中野公世, 「光はおもしろい。光を使った研究と応用」: 松島房和, 鳥養映子.
3. 日本物理学会誌に記事を掲載: (1) 「第3回IUPAP国際会議Women in Physics (ICWIP2008)報告」: 田島節子(2009年5月号). (2) 「男女共同参画推進委員会だよりNo.6 意識改革は進むか?ー男女性別役割分担を超えて」: 門野良典(掲載予定).
4. 物理教育委員会との連携: 連携SG担当: 米永一郎. 物理学会年次大会において、物理教育-男女共同参画合同インフォーマルミーティングを行い、互いの活動についての意見交換を行った(2009年3月29日, 立教大学). 「女子中高生夏の学校のこれまで」: 鳥養映子, 「信州大学「わたしもサイエンティスト!」」: 中島美帆を発表. 同年7月, 松尾が物理教育委員会に出席するなど、今後も両委員会が連携を行っていくこととなった。
5. 学協会連絡会の活動への参加: 第7回シンポジウム(東京工業大学)に参加, ポスター発表: 嘉規香織, 若手研究者の異分野交流とネットワーク作り話題提供: 中野享香.
6. 国際協力の推進: (1) IUPAP “Women in Physics” WG 主催の国際会議, 第3回(2008年10月8-10日, 韓国, ソウル)に出席. 日本チーム18名の団長田島節子を筆頭に、委員会から前田京剛, 米永一郎が参加した. 日本物理学会からは3つのポスター発表と1つの口頭発表を行った. (2) 2009年7月ドイツ, ベルリンで開催された第4回“Women in Physics”国際会議(2011年, 於南アフリカ)の準備会合に田島節子が出席.
7. 委員会ホームページのリニューアル: 広報SG: 担当 中島美帆, 森初果. 日本物理学会男女共同参画推進委員会 HP の完全リニューアルを行い、委員会の目標、これまでの経緯をわかりやすく整理した. 議事録, 物理学会誌掲載記事の紹介, 活動の記録など、委員会活動を随時追加掲載している.

(文責: 松尾)